

開催趣旨

今、日本社会は大きな曲がり角にあります。世界的には、中国経済をはじめとする新興経済の変調に大きく影響されるとともに、国内的には人口減少と縮退社会現象が顕著となっています。東京一極集中は続いています。日本社会全体でみれば消滅可能性都市といった表現に端的に示されるように縮退社会の時代に入ることを余儀なくされているといえましょう。

こうした危機的ともいえる局面にあって、持続可能な地域とその住民の暮らしのあり方を探求しようとするとき、ICTはさまざまな可能性を提供していますし、今後の大きな社会発展はICTによってもたらされることが期待されていると言えます。とりわけ、個人番号制度による安全と信頼のできる社会づくりが進みはじめていますし、さらにIoTとAIの技術開発は従来の暮らし方やその社会の構造を組み替える可能性があります。

そしてそれらを日常に活かす工夫を試みるハッカソンやオープンデータソン、そしてこれらのICT技術を活用したまちづくり地域づくりの実践として、テレワークやシビックテックが多様に展開されようとしています。ICTは、まさに今、袋小路に陥ろうとしている私たちの社会にとっては、その壁を盛り越える新たな可能性を開いていざつあります。

第18回京都研究会では、「ICTが拓く持続可能社会」と題して、AI、IoT、シビックテック、安心安全を保障するICT基盤構築などを論じてこれからの社会の新たな展望を考えてみたいと思います。

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川 達郎

研究会

13:00～17:00

- **地域を支えるシビックテック**
■ 演者：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）
 - **医療機関におけるバリアフリー調査**
■ 演者：横田 健吾
（NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター）
 - **IoTが拓く持続可能な農業**
■ 演者：隅岡 敦史
（NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事）
 - **人工知能の現状と持続可能社会への貢献**
■ 演者：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/
株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）
 - **ポケットカルテとマイナポータル～マイナンバーカードの活用方法～**
■ 演者：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問）
 - **【演者を交えた総合討論会】「ICTが拓く持続可能社会」**
■ コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）
■ 登壇者によるパネルディスカッション
- ※ 演題名は変更の可能性があります。

演者を交えたレセプション(懇親会)

閉会后～19:00

2階レストラン「TSUMUGI」にて開催

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）
後援：京都府、京都市、京都新聞、ITコンソーシアム京都

お問い合わせ：SCCJ E-mail:info@sccj.com

第18回京都研究会

<http://www.sccj.com/kk/2016-2017>

SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2017年1月27日(金)
13時～17時
京都市国際交流会館
イベントホール
定員220名

※事前申込先着順

ICTが拓く 持続可能社会



会場地図



●お申し込み：下記ホームページからお申し込み頂けます。
<http://www.sccj.com/kk/2016-2017> ※事前申込制

●参加費：有料

プラン	対象	対象	
		一般	SCCJ会員 (企業・団体/個人)・学生 および地方公共団体職員の方
研究会のみ参加(13:00～)		1,000円	無料
研究会、懇親会すべて参加 (閉会后～19:00)		6,000円	5,000円

※一般参加費の1,000円とSCCJの個人会員の年会費1,000円は同額ですので、参加費用としてではなく、SCCJ個人会員としてお支払いされることをお奨め致します。